

令和4年度 学校経営

皆与志養護学校

経営の基調

人間は、本来よりよく生きたいという願いをもっている存在であり、その願いを常に児童生徒の側に立って、実現の方向に支援する。

教育目標

教育的ニーズに応じた教育を行い、明るく、強く、心豊かに生活できる児童生徒を育成する。

校訓

明るく 強く やさしく

目指す学校の姿

- 責任を果たす学校
- 楽しく学べる学校
- 安心・安全な学校

目指す子供の姿

- 健やかな体と元気な心の子供
- 関わり合い伝え合う子供
- 力を生活に生かす子供

目指す教師の姿

- 子供とともに進む教師
- 専門性を高めチャレンジする教師
- 信頼される教師

ミッション

児童生徒が安心・安全に学習できる環境づくりと、ICT 機器や教材教具を活用した授業の充実を図る。

経営方針

- 1 高い使命感・職責感をもち、全職員の協働とアイデアでこれからの指導の在り方について研究を深める。
- 2 児童生徒の実態と学習指導要領に基づいた教育課程編成を行い、個別の指導計画により更なる授業の充実を図る。また、機器の活用を効果的に行う。
- 3 保護者・やまびこ医療福祉センター、諸関係機関との連携を取りながら、今後の支援体制の充実を図る。
- 4 保健衛生、安全管理、感染症予防の徹底などに取り組み、安心・安全な学校環境づくりを行う。
- 5 特別支援教育に係る積極的な情報収集・発信に努め、センター的機能の充実を図る。

重点実践事項

次ページ参照

1 高い使命感・職責感をもち、全職員の協働とアイデアでこれからの指導の在り方について研究を深める。

－本校の実情と将来を見据えた教育課程の改善（学校における業務改善の視点も）－

- (1) 児童生徒の減少に伴い、小・中学部合同学習及び鹿児島養護学校高等部訪問学級との協働学習について内容を検討し、連携を取りながら更なる充実を図る。
- (2) 業務改善に向けて、教職員一人一人がそれぞれの課題意識や1アクション・1トライを意識して積極的に取り組む。

2 児童生徒の実態と学習指導要領に基づいた教育課程編成を行い、個別の指導計画により更なる授業の充実を図る。また、機器の活用を効果的に行う。

－7人の児童生徒を全員で指導するための一人一人の目標と指導内容の共有化－

- (1) 学習内容を、学習指導要領と照らし合わせて指導するとともに、適切な評価を行い授業改善を進める。（授業のpdcaを明確にする）また、授業公開を夏季休業中に行う。（ビデオによる授業公開）
- (2) 個別の指導計画の共有を行い、指導内容についての更なる共通理解を図る。
- (3) 個々の実態に応じて、ICT機器を活用した授業づくり（遠隔授業等）に努める。

3 保護者・やまびこ医療福祉センター、諸関係機関と連携をとりながら、今後の支援体制の充実を図る。

－学校だけではなく、関係者を巻き込んだ支援体制の充実－

- (1) やまびこ医療福祉センターの看護部やリハビリテーション部等との情報交換の方法を工夫し充実を図る。
- (2) 保護者との連携方法を工夫し、充実させることにより、教育活動への関心を高め、より一層の理解と協力を得られるようにする。

4 保健衛生、安全管理、感染症予防の徹底などに取り組み、安心・安全な学校環境づくりを行う。

－児童生徒も教師も心身共に安心して過ごせる環境づくりの推進－

- (1) 保護者ややまびこ医療福祉センターと連携し、徹底した感染症対策を行う。
- (2) 定期的な安全点検や日常的な整理整頓をすることで、児童生徒にとって安心・安全な環境づくりに努める。

5 特別支援教育に係る積極的な情報収集・発信に努め、センター的機能の充実を図る。

－特別支援教育及び重度・重複障害教育のセンター的役割を果たし、開かれた学校づくりの推進－

- (1) 学校ブログにより、教育活動の様子や教育方針について外部発信に努める。
- (2) 市教委及び地域の幼稚園・保育所、小・中学校、高等学校の要請に応じた巡回相談等の充実を図る。